

2024年オランダ・ベルギー調査報告 (資源循環、サーキュラーエコノミーの 取組状況調査)

JWセンター 調査部

調査目的

- **カーボンニュートラルの達成に向け資源循環、サーキュラーエコノミーの取組みが国内外で活発になっている。特にサーキュラーエコノミーの取組みが進むヨーロッパの事例は注目を集めており、日本の廃棄物処理業界やJWセンター業務に参考にするべく、現地の取組状況を把握する調査を実施した。**
- **JWセンター業務に関連する内容として、廃棄物情報の活用事例を調査し、マニフェスト情報の活用による脱炭素等への取組みの参考にする。**

調査方法

- オランダ在住のコーディネーターを通じて、現地の企業、団体、自治体にヒアリング調査への協力を要請し、調査を実施した。
- 訪問時は、企業、団体等の概要、取組みを説明いただき、事前に送付した質問事項に回答いただいたほか、処理施設等を視察した。
- 調査対象は、廃棄物情報の追跡・情報活用、建設・解体廃棄物リサイクル、プラスチックリサイクル、電池リサイクル、食品ロス削減、廃棄物処理・サーキュラーエコノミーの政策等の幅広い分野を対象とした。

調査日程 : 7月2~5日 オランダ

7月2日(火)	<ul style="list-style-type: none">● JETROアムステルダム事務所訪問(オランダ産業等の情報収集)● Excess Materials Exchange訪問(廃棄物情報の活用) https://cehub.jp/interview/excess-materials-exchange/
7月3日(水)	<ul style="list-style-type: none">● GP Groot 訪問(建設廃棄物リサイクル業者) https://www.gpgrootinzameling.nl/● Remondis 訪問(建設廃棄物リサイクル業者) https://www.remondisnederland.nl/home/● Dutch Waste Management Association(DWMA、オランダ廃棄物管理協会)が上記2社の訪問を調整 https://verenigingafvalbedrijven.nl/english
7月4日(木)	<ul style="list-style-type: none">● アムステルダム市訪問(自治体) https://www.amsterdam.nl/en/waste-recycling/Taste before you wasteメンバーと会食(食品ロス削減取組団体) https://www.tasteforeyouwaste.org/
7月5日(金)	<ul style="list-style-type: none">● サーキュラーエコノミーツアーinアムステルダム

調査日程 : 7月8~9日ベルギー、7月10日オランダ

7月8日(月)	<ul style="list-style-type: none">● The One Project訪問(プラスチックリサイクルコンサルタント) https://www.theoneproject.eu/ https://ideasforgood.jp/2019/02/21/colossus3dprinter/
7月9日(火)	<ul style="list-style-type: none">● European Waste Management Association 訪問 (FEAD、欧州廃棄物管理協会) https://fead.be● Bebat訪問(バッテリーリサイクル企業) https://www.bebat.be/en/homepage オランダへ移動
7月10日(水)	<ul style="list-style-type: none">● Mud Jeans訪問(ジーンズレンタル事業者) ※7月5日実施のサーキュラーエコノミーツアーに関連し個別訪問

オランダ基本情報

<一般情報>

- 人口**1,794万人**(**2024年1月1日**、出所:オランダ中央統計局)
- 首都**アムステルダム** 人口 **93万人**(**2024年1月1日**、出所:同上)
- 面積**4万1,543平方キロメートル**(日本の約**9分の1**)

<主な産業>

- 工業では、**半導体製造、化学工業、造船**などが盛ん
- **農業が盛んで農業輸出額は世界第2位**

<国民性>

- **合理主義、効率性を追求**
- **世界初、誰もやっていないことの実現に価値を見出す**
- **やりながら学んで良くしていく“learning by doing”の精神**

オランダ基本情報

＜カーボンニュートラル、環境等の政策について＞

- EU指令への対応で、再生可能エネルギー利用への転換、特に水素製造、利用を強化している。天然ガス産地のフローニンゲンでも、水素製造に舵を切る。
- 重点産業として、水素製造、半導体製造、サステナブルケミカル、アグリテック等をあげ、産学官連携により工科大学等で研究・開発を強化している。カーボンニュートラル達成に向けて、サーキュラーエコノミーの取組みを推進。

ベルギー基本情報

<一般情報>

- 人口**1,176万人**(2023年末、出所:**NBB.Stat**)
- 首都ブリュッセル 首都圏人口**124万人**(2023年末、出所:**NBB.Stat**)
- 面積**3万688平方キロメートル**(日本の約**12分の1**)

<主な産業>

- 化学工業、機械工業、金属工業、食品加工業
- バイオテクノロジー、医薬、石油化学、宇宙・航空、ナノテク等、世界最先端の科学技術産業を擁する貿易立国
- ファイザー社等のワクチン開発・生産拠点が所在。

ベルギー基本情報

＜カーボンニュートラル、環境等の政策について＞

- **2019年に策定された「国家エネルギー・気候計画2021-2030」では、主に洋上風力発電の開発を通じて、2040年までにエネルギー需要全体の40%を再生可能エネルギーで賄い、2050年には全量を再エネ由来とする目標を掲げている。**
- 「持続可能な開発のための長期的戦略ビジョン」では、「人体や環境に悪影響を与えない製品の生産や農業を通じて、環境への負荷を軽減し、食品残さの減少を目指す。」と示している。